

2023年第4回定例会

調布市情報公開情報の電子データによる提供を求める陳情

採択討論

生活者ネットワークは、陳情第17号 調布市情報公開情報の電子データによる提供を求める陳情の採択を求めます。

この陳情は、情報公開請求の際、全部公開の資料については、求めがあれば電子データでの提供を求めるというものです。委員会で確認されたことは、電子データは、請求者が開くことができる拡張子のものは電子データで提供、紙資料はコピーして紙で提供、また、紙での提供の求めがあれば、元が電子データ資料であってもプリントアウトして紙で提供している一方で、紙資料をスキャンして電子データで提供するという対応はなされていない、こういったことが確認されました。

もちろん紙資料の形態は様々ですので、一律のルール化は難しいと思いますけれども、市はデジタル総合戦略において目標の1つに市民の利便性向上を位置づけていますので、請求者の方との調整を行った上で、対応可能なところからでも求めに応じるべきだと考えます。そのためにも、コピー機のスキャナー機能が必須になりますけれども、委員会では現在、コピー機にスキャナー機能がついていない部署が複数あるという現状が確認されました。この状況は、デジタル化の過渡期のこの時期を乗り切る上で必要なものだと思いますので、早急に改善するべきだと考えます。

また、委員会審査の後、もう少し調べましたところ、元がPDFなど、請求者が開くことができる形態の電子データであり、請求者が電子データでの提供を求めているにもかかわらず紙で提供される、そういった事例があることも分かりました。

どういうケースかといいますと、情報公開請求の際には、閲覧の希望があるかどうかを確認します。そのときに、電子データ資料に対して閲覧の希望があると、その対応のために、電子データを一旦印刷しているそうです。非常に非効率なことが行われているわけです。その際に、閲覧のために印刷した資料の枚数が多い場合、閲覧した後で請求者がその資料を公開してほしいという求めをしている場合に、そういう求めをしても紙の無駄を避けるために、そのまま紙で提供する、そういうことがあるということです。

ですので、仮にデータ上で50枚の資料、紙で印刷して50枚のものであれば、請求者の求めに応じてCD-ROMに焼き付ければ55円で済むところを、紙ですと1枚10円ですので、500円負担をしていただいているということで、非常に驚くべき非効率な対応だと考えます。無駄な紙ごみを減らしたいという意思があるのであれば、市民に負担を強いるのではなく、電子データの資料は電子データのままで閲覧できる体制を早急に整備

すべきだと考えます。

情報公開は市民の権利ですけれども、業務負担とのバランスもありますので、そこも含めてDXをしっかりと活用できるようにスキャナー機能の充実及び全部公開の資料は電子データのままで閲覧ができる体制を整備する、そういったことを求め、本陳情の採択を求めます。

以上です。